日本消防検定協会 鑑定合格品

※鑑定合格品でなければ、住宅建築許可がおりません。

鑑定型式番号：SS-2LGH鑑ヶ第16～11号
SS-2LFH鑑ヶ第15～2号

タイプ	ブザー音タイプ［天井・壁掛け式］	サイレン音＋音声タイプ［壁掛け式］
	コードNo.0000-4201 価格（税別）¥6,800	コードNo.0000-4200 価格（税別）¥12,000
形式	SS-2LGH	SS-2LFH
電源	9V乾電池（マンガン）	6Vリチウム電池（専用電池）
電池寿命	約1年（電池交換の目安）※	約5年（通常のご使用時）
本体使用期間の目安	約10年（通常のご使用期間）	約5年（通常のご使用期間）
感知方式	煙式（光電式）	煙式（光電式）
警報音	ブザー音「ピィー・ピィー・ピィー」	サイレン音「ウー・ウー」+音声警報「火事です、火事です」
警報音量	火災警報70dB以上（1m）	火災警報70dB以上（1m）
寸法	100mm×100mm×43mm（引っ掛けフック除く）	125mm×85mm×34mm（引っ掛けフック除く）
質量	約140g（電池含む）	約160g（電池含む）
使用温度範囲	0℃～40℃	0℃～40℃
付属品	取付板、乾電池、取付ネジ、石こう釘、取扱説明書	乾電池、取付ネジ、取扱説明書

※頻繁に動作した場合など、ご使用状況により電池寿命が短くなる事があります。

安全上のご注意　火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、ご使用前に、取扱い説明書に記載されている「安全上のご注意」をすべてよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。

●お求めは、お手軽なお支払い方法の日立のクレジット・リースをご活用ください。●掲載した製品は、外観など改良のため一部変更することがあります。
●このカタログに掲載の価格は、メーカー希望小売価格です。消費税は含まれておりません。

■製造元　ホーチキ株式会社　〒141-8660 東京都品川区上大崎2-10-43 TEL.03(3444)4111(大代表) URL http://www.hochiki.co.jp
■販売元
日立工機株式会社
国内営業本部
東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティA棟）
東京（03）5783-0626（代表）〒108-6020
支店
北海道（011）271-4751・北陸（076）263-4311・中国（082）228-0537
東北（022）288-8676・中部（052）262-3811・四国（087）841-6191
東京（03）5783-0629・関西（06）4796-8451・九州（092）621-5772
［電動工具ホームページ］ http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/
お客様相談センター 0120-20 8822（土・日・祝日を除く午前9:00～午後5:00）

親切で信用のある――日立電動工具販売店

05-10 SD-1090Printed in Japan ZG-K（SS）

日本消防検定協会 鑑定合格品
※鑑定合格品でなければ、住宅建築許可がおりません。
鑑定型式番号：SS-2LGH鑑ヶ第16～11号、SS-2LFH鑑ヶ第15～2号

NEW accessories

住宅用火災警報器　ハイガード

煙式（光電式）

消防法の改正により一般住宅への「住宅用火災警報器の設置」が義務付けられました。

ご存知ですか？
住宅火災による死者が増加！
住宅火災による死亡原因の約7割が逃げ遅れ
約6割が65歳以上の高齢者です。
（消防庁データによる）

火災を24時間しっかり監視!!
取付け簡単で耳のご不自由な方にも「赤色表示ランプ」でお知らせ!!

ブザー音でお知らせ

天井＋壁掛け式

鑑定型式番号：
SS-2LGH鑑ヶ第16～11号

SS-2LGH

音声＋サイレン音でお知らせ

壁掛け式

鑑定型式番号：
SS-2LFH鑑ヶ第15～2号

SS-2LFH

▼天井に

壁面に▼

壁面に▼

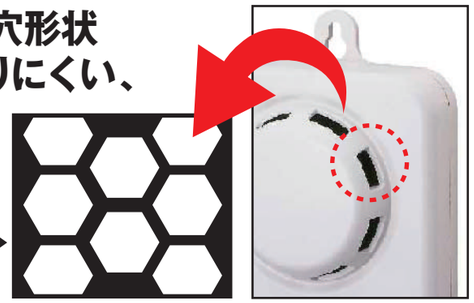
用心への第一歩。家族の安心と住まいの安全のために「住宅用火災警報器」の設置を！

■誤動作をおこしにくい安心設計

正確な検出を行い易い、防虫網の穴形状
※［煙が入りやすく、虫・ほこりが入りにくい、
防虫網（ハチの巣形状）を採用］

※特許取得済

ハチの巣形状 ▶

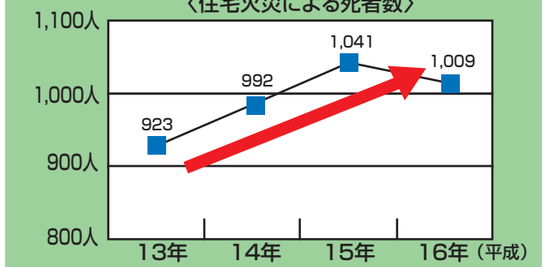


消防法を改正し全国一律に住宅用火災警報器等の取付けが義務付けられました。

●新築住宅は、2006年（平成18年）6月1日から施工されます。
●既存住宅は、市町村条例により適用までの時期が定められます。

※東京都では、平成16年10月より条例で取付けが義務付けられています。（新築住宅）

住宅火災による死者数



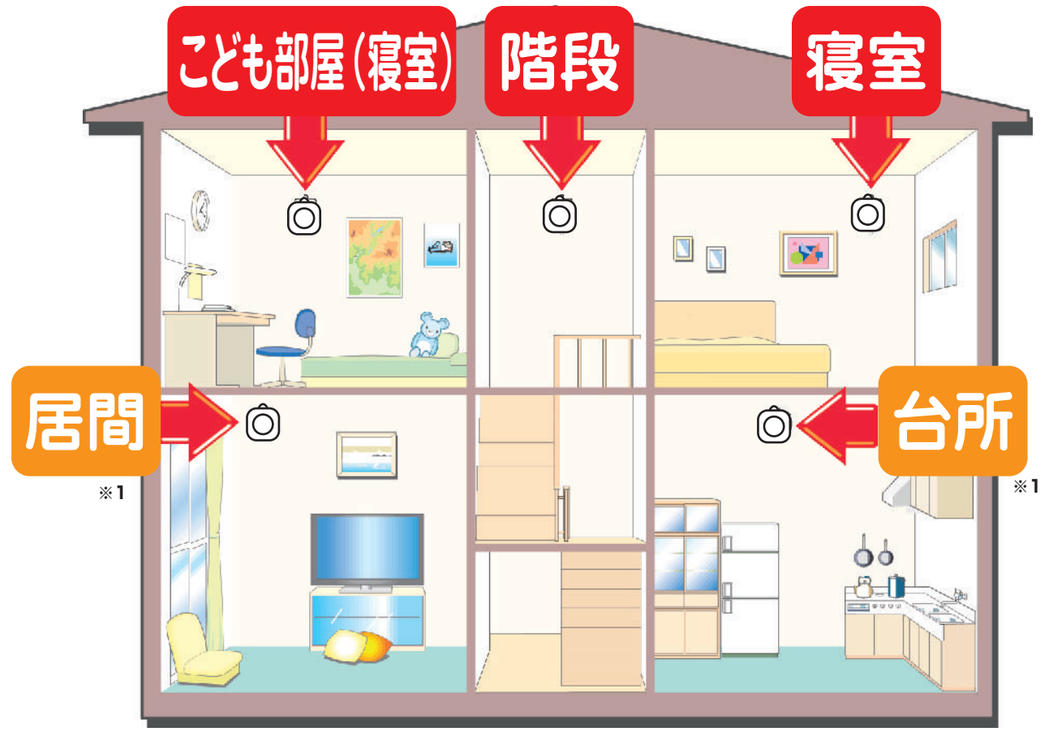
死者の約6割が65歳以上の高齢者

死亡者の約7割が逃げ遅れ

住宅火災の死者は約9割

（消防庁データによる）

火災警報器はどこに取付けるのですか？



取付けが義務付けられている所（寝室・階段）

取付けをおすすめする所（台所・全ての居室）

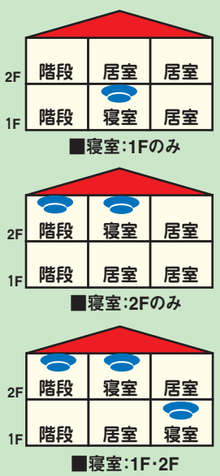
※1 市町村条例により、取付けが義務付けられている場所が追加される場合があります。
※2 東京都では、平成16年10月より条例で取付けが義務付けられています。（新築住宅）

設置例

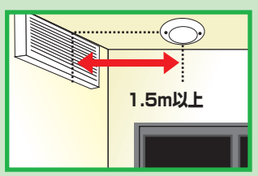
:警報器

1階建て

2階建て

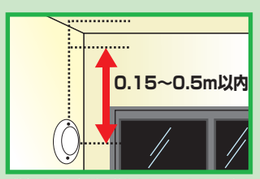


●天井設置（エアコン等）する場合



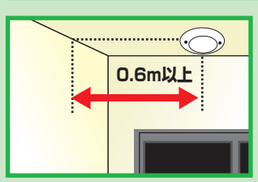
エアコンなどの吹き出し口がある場合は、吹き出し口から1.5m以上離して取付けます。

●壁に設置する場合

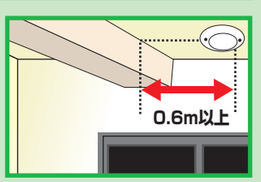


警報器の中心が天井から0.15～0.5m以内の位置に取付けます。

●天井に設置する場合



警報器の中心を壁から0.6m以上離して取付けます。



梁などがある場合は、梁から0.6m以上離して取付けます。